

| | | |
|-----------|--|--|
| 科目名 | 東洋思想 | |
| 担当者 | 宮野 直也 / MIYANO, Naoya | |
| 科目情報 | 教養科目 1 群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2 単位 / 1 年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | 儒家思想についての講義。孔子、孟子、荀子を探り上げ、儒家の基本的特徴と、三者の差異及びその原因について講じる。 |
| | 到達目標 | 儒家思想の基本的特徴を理解する。 思想を体系的に把握する方法を学ぶ。 |
| 授業計画 | (1) 授業のオリエンテーションと中国古典を理解するための基礎知識 (2) 封建制の構造と弱点 (3) 孔子の生涯と思想 (4) 孟子の生涯とその時代 (5) 政治観：「仁政」 (6) 法家思想と商君の改革 (7) 尚古の歴史観：「一治一乱」 (8) 性善説とその目的 (9) 荀子の生涯とその時代 (10) 性悪説とその目的 (11) 秦に対する評価と社会への視線 (12) 「天人之分」の内実 (13) 三才（天・地・人）の関係とそれを統べるもの (14) 漢代の儒家：儒家一尊の実態 (15) 総まとめ | |
| 自学自習 | 事前学習 | ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。 |
| | 事後学習 | 授業内容の復習。特に資料と結論との関係を再確認すること。 |
| 使用教材・参考文献 | 【教】教科書は特に指定しない。授業中に配布するプリントを用いる。 【参】赤塚忠編『思想史』中国文化叢書 3 大修館書店 1967 年 【参】赤塚忠編『思想概論』中国文化叢書 2 大修館書店 1968 年 【参】近藤春雄『中国学芸大辞典』大修館書店 1987 年 | |
| 成績評価方法と基準 | <基準>儒家思想の基本的特徴と、孔子、孟子、荀子の思想の差異及びその原因を理解できていれば合格とする。 <方法>筆記試験 60% 出席態度 40% | |
| 備考 | 定期試験において、指定文献を読書していないと解答できない問題を課す。 | |